

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和7年度潜水作業の効率化に向けたICT活用検討業務			
業務概要	業務名称	業 務 内 容		摘 要
		設 計 仕 様	単位	数量
	令和7年度潜水作業の効率化に向けたICT活用検討業務			
	計画準備	計画準備	式	1
	ICTの実装による効果の検討	ICTの実装による効果の検討	式	1
		ICTを活用した潜水装備の標準化に向けた検討	式	1
		ICTを活用した潜水装備の技術開発に関する検討	式	1
	ICTを活用した潜水士の多能化による効果の検討	潜水士が保有する技術の活用方策の検討	式	1
	特殊潜水作業（仮称）の技能認定及び職種の検討	特殊潜水作業（仮称）の技能認定方法の検討	式	1
		特殊潜水作業（仮称）の職種の検討	式	1
	ICT潜水あり方検討会の開催	検討会の運営	回	3
		検討会資料の作成	式	1
	成果物	業務完成図書作成	式	1
	協議・報告			
		事前協議	回	1
		中間報告	回	3
		最終報告	回	1
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官九州地方整備局副局長 坂井 功 福岡県福岡市博多区博多駅東2-10-7			
契約年月日	令和7年6月12日			
契約業者名	令和7年度潜水作業の効率化に向けたICT活用検討業務沿岸技術研究センター・日本海洋コンサルタント設計共同体			
契約業者の住所	東京都港区西新橋一丁目14番2号			
契約金額（税込）	¥30,140,000			
予定価格（税込）	¥30,206,000			
随意契約によることとした理由	<p>本業務の実施にあたっては、九州の港湾工事における潜水作業時の課題等を解決するためのICT潜水技術を見出し、九州として目指すべきICT潜水のあり方や、将来の港湾潜水士確保に向けた仕組みづくりについて検討する必要がある。以上のことから、受注業者に対しは、1. 配置予定技術者の経験及び能力（技術者資格、業務執行技術力等）、2. 業務実施方針（業務理解度、業務実施手順等）、3. 特定テーマに対する技術提案（的確性、実現性）等の観点からプロポーザルの提出を求めたものである。</p> <p>建設コンサルタント等の特定手続きに基づく審査の結果、沿岸技術研究センター・日本海洋コンサルタント設計共同体が最適であると判断されることから、上記業者と会計法第29条の3第4項に基づき随意契約を行い業務の円滑な遂行を図るものとする。</p>			
業務場所	発注者指定の場所			
業種区分	建設コンサルタント等			
履行期間（自）	令和7年6月12日			
履行期間（至）	令和8年3月20日			
備考				